

高田松原津波復興祈念公園の基本構想を策定しました！

都市計画課

本県では、東日本大震災津波で甚大な被害を受けた陸前高田市高田松原地区において、復興祈念公園の整備を計画しており、国土交通省東北地方整備局及び陸前高田市と連携して、復興祈念公園の基本理念や基本方針、公園イメージ等を定める基本構想を検討してきました。

このたび、学識経験者等で構成した有識者委員会（委員長 東京工業大学大学院 中井検裕教授）による検討並びに市民シンポジウム及びパブリックコメントによる一般の方のご意見を反映し、「高田松原津波復興祈念公園基本構想」を策定し、6月26日に公表しました。

なお、今年度は引き続き8月から具体的な空間構成等を定める基本計画を検討していきます。

○基本構想策定に至る経緯

被災前	総合公園「高田松原公園」として供用	面積 69.7ha
H23年3月11日	東日本大震災発災・市街地とともに甚大な被害を受ける	
8月11日	メモリアル公園等整備事業を県復興実施計画に位置付け	
12月7日	陸前高田市への国営メモリアル公園配置を県議会で表明	
H24年7月3日	「高田松原地区震災復興祈念公園構想会議」設置(県・市)	
H25年2月26日	「高田松原津波復興祈念公園」告示(県決定)	面積 124.2ha
3月8日	「構想会議」が震災復興祈念公園のあり方に関する「提言」公表	
9月26日	「岩手県における復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会」設置	
	基本構想の検討着手	

○基本構想の概要

①基本理念

奇跡の一本松が残ったこの場所で
 犠牲者への追悼と鎮魂の思いとともに
 震災の教訓とそこからの復興の姿を
 高田松原の再生と重ね合わせ未来に伝えていく



奇跡の一本松と旧ユースホステル

②基本方針

- ① 失われたすべての生命(いのち)の追悼・鎮魂
- ② 東日本大震災の被災の実情と教訓の伝承
- ③ 復興への強い意志と力の発信
- ④ 三陸地域に育まれた津波防災文化の継承
- ⑤ 公園利用者や市街地の安全の確保
- ⑥ 歴史的風土と自然環境の再生
- ⑦ 市街地の再生と連携したまちの賑わいの創出
- ⑧ 多様な主体の参加・協働と交流



高田松原津波復興祈念公園 位置図

③公園イメージ

○利活用・空間イメージ

